

## 基本 B

補充シート

## 小学校の復習 (2)

## 解答

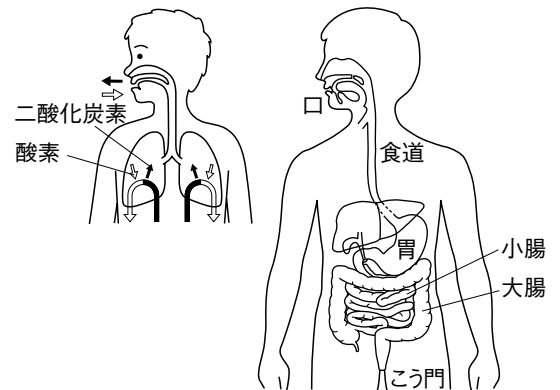
- ① (1) ① 酸素  
② 二酸化炭素  
(2) 消化  
(3) 記号 イ  
名称 小腸  
(4) 血液  
(5) イ  
ウ

- ② (1) ① ある。  
② ある。  
(2) 変わらない。  
(3) 星座  
(4) はくちょう座  
(5) 夏の大三角

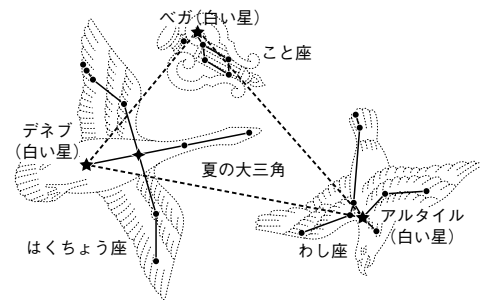
- ③ (1) ②  
(2) 似ている。  
(3) 水  
(4) 化石  
(5) エ

## 解説

- ① (1) 肺には血管が通っていて、ここで酸素が血液にとり入れられ、血液から二酸化炭素が出される。  
(2) 食物は消化管を通るうちに、体内に吸収されやすいものに変化する。消化のはたらきをする消化液には、だ液や胃液などがある。  
(3), (4) 消化された養分は、おもに小腸で血液に吸収され、全身に運ばれる。  
(5) 水分は小腸や大腸で吸収される。

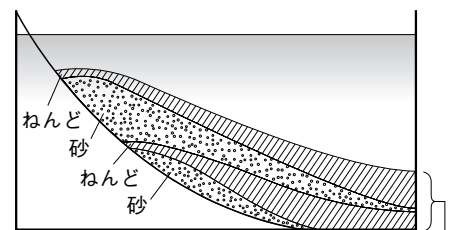


- ② (1) わし座のアルタイルは白色、さそり座のアンタレスは赤色、など、星によって色がちがう。また、明るい順に1等星、2等星…と分けられている。  
(2) 時間がたつと星座の見える位置は変わるが、星どうしの並び方は変わらない。  
(5) はくちょう座のデネブ、こと座のベガ、わし座のアルタイルを結んでできる三角形を夏の大三角という。また、オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンを結んでできる三角形を冬の大三角という。



- ③ (1) (1) しまもようは、小石や砂、ねんどなどが層になって積み重なっているものである。このように層が積み重なっているものを地層といい、それぞれの層は板のように広がっている。  
(2) 流れる水のはたらきによって小石・砂・ねんどに分けられながら運ばれ、積もるため、1つの層は同じくらいの大きさの粒の集まりになる。

砂とねんどをまぜたものを水といっしょに水そうに流しこむ。  
しばらくおいてからもう一度流しこむ。



層になって積み重なっていく ←

- (3) 水に運ばれてくるとちゅうで、角がけずられてとれる。  
(4) 大昔の生物の体や生活のあとなどが残ったものを化石という。  
(5) 地層は、ふつう、下から上へと積み重なる。